

平成 28 年 6 月 30 日

第三回 JCHO 秋田病院地域協議会議事録

(日 時) 平成 28 年 6 月 30 日 (木) 18 : 30 ~ 19 : 45

(場 所) JCHO 秋田病院 健康管理センター 大ホール

(出席者) 山須田委員、永井委員、楊委員遅、佐々木委員 (齊藤委員代理)、高橋委員、船山委員、小笠原委員、佐藤委員 (泉委員代理)、佐々木委員、大高委員 (加藤委員代理)、芳賀委員、薩摩委員、小林委員、大友委員、石岡委員、金子委員、大塚委員、根本委員、安田委員、千田委員、船越委員、三浦委員

(欠席者) 石川委員、近田委員、岸部委員、三浦雅委員

(議 題) 1.平成 27 年度 JCHO 秋田病院 事業概況について
2.第一回地域協議会分科会報告について (平成 28 年 6 月 16 日開催)
3.病院に対するニーズについて

(議事録)

司会 安藤

ただいまより、第三回独立行政法人地域医療機能推進機構秋田病院地域協議会を開催いたします。この地域協議会は独立行政法人地域医療機能推進機構法第二十条で設置することが義務付けられておりまして、当院では年 1 回以上開催することになっております。この目的は、施設の運営にあたり、広く利用者その他の関係者の意見をお聴きし、当地域の実情に応じた運営に努めるためでございます。本日はよろしく願い申し上げます。

JCHO 秋田病院病院長あいさつ

本日はお忙しい中、またお疲れのところ当院の地域協議会にお越しいただきましてありがとうございます。皆様には日ごろいろいろとお世話になっておりまして、この場をお借りしてお礼申し上げます。おかげさまでまる 2 年経過いたしました。黒字基調でなんとかやってきております。また、医師の数も徐々に増えてきてまして診療科も充実してまいりました。このようにだんだん病院の機能の向上に努めたいと思います。昨年の協議会は能代山本全体の議論のようになってしまいましたが、あくまでも当院の地域協議会ですので、今回は当院に対するご意見やご要望を賜りまして、それをもとにこれからの運営に役立ててまいりますので、どうぞ忌憚のないご意見をいただきながら、協議会を執行していただけますようよろしくお願いいたします。

司会

まず本日の出席状況についてですが、お手元の名簿をご覧ください。

平成 28 年度は委員任期更新の時期となっており、あらかじめ当院病院長がお願いし、ご承諾された方々に平成 29 年度までの任期でお願いしております。ご紹介申し上げます。お名前を呼ばれた委員はその場でご起立お願い致します。山須田委員、永井委員、楊委員は遅れて参加の予定です、齊藤委員代理佐々木委員、高橋委員、船山委員、小笠原委員、泉委員代理佐藤委員、佐々木委員、加藤委員代理大高委員、石岡委員、芳賀委員、金子委員、薩摩委員、大塚委員、小林委員、大友委員、岸部委員は遅れて参加の予定です、根本委員、安田委員、千田委員、船越委員、三浦委員です。尚、本日石川委員、近田委員、三浦雅之委員は所要のため欠席となっております。

委員長、議長選出

司会

それでは、議事に入ります前に規定第 5 条に則り、委員長の選出に入りたいと思います。如何致しましょうか。

小笠原委員

能代山本郡医師会会長の山須田委員にお願いしたら如何でしょうか。

一同

異議なし

司会

山須田委員とのご推薦がございました。異議なしということで山須田先生よろしくお願ひ申し上げます。

副委員長指名

司会

副委員長は委員長が指名することとなっておりますので、山須田委員長ご指名をお願いいたします。

山須田委員長

遅れておりますが、楊委員にお願いいたします。

一同

異議なし

司会

異議なしということで楊委員よろしくお願ひ申し上げます。それでは、規定第 6 条により議長は委員長が務めるとなっておりますので、山須田先生議長席の方へよろしくお願ひ申し上げます。

議長挨拶・資格審査報告・議事録署名人指名

議長

前回に引き続き議長に選出いただきました。よろしくお願いいたします。JCHO 秋田病院は地域医療の中核としてより発展できるようにこの協議会が運営できれば、と思います。なるべくスピーディな進行に努めたいと思いますので、皆様ご協力お願いします。それでは、事務局より本協議会の資格審査報告をお願いいたします。

事務局

本協議会は、委員 26 名中 22 名の出席により協議会は成立していることをご報告致します。

議長

それでは、規定により議事録を作成し保存することとなっておりますので、議事録署名人を薩摩委員と小笠原委員をお願いいたしたいのですが如何でしょうか。

一同

異議なし

議長

それでは、よろしくお願い申し上げます。

議長

それでは議事に入ります。本日の議案は 3 つとなっております。それぞれ提案後、一つずつ承認を受けたいと思います。

【議案】

議長

一つ目は、

- 1.平成 27 年度 JCHO 秋田病院 事業概況に及び平成 28 年度計画について
(スライド使用)

石岡委員お願い致します。

石岡委員

- ・平成 27 年度 JCHO 秋田病院 事業概況について
- ・平成 28 年度計画について
- ・平成 27 年度トピックス
- ・平成 28 年度取組方針
- ・地域協議会分科会の新設

(別添資料参照)

議長

ご意見ご質問等ございませんでしょうか。

それでは、承認してもよろしいでしょうか。

一同

異議なし

議長

続きまして二つ目は、

2. 第一回地域協議会分科会報告について（平成 28 年 6 月 16 日開催）

先ほど石岡委員から報告のありました、分科会について概要と出された意見について事務局より報告お願い致します。

事務局 安藤

（別添議事録参照）

議長

それでは、これに対する病院から意見がございましたら発言お願い致します。

まずは、

・待ち時間短縮について

根本委員

待ち時間短縮について現在病院で取り組んでいる内容についてご説明させていただきます。全体的に待ち時間は長い現状であります。特に整形外科、内科は患者数も多くいらしていただいております。曜日、患者数によって違いはありますが、平均すると長い方で 2 時間から 3 時間の待ち時間があるというような状態です。待ち時間に関する配慮といたしましては、整形外科では、予約の患者について番号の呼びかけを行い、待っている患者様に対して説明を行っております。

内科では医師により待ち時間の違いがあり、診察前に採血等の検査があると診察が順番通りに進まない場合もあり、今後お伝えする方法を検討していきたいと考えております。採血検査のある方に関しては、採血データが出るまでの時間や、診察までのおおよその待ち時間を伝えるように努力している現状です。6 月から、内科に医療事務補助者 1 名を配置いたしました。診療の事前準備が早くなるような形でかわり、診察の進み具合も早くなってきている現状です。始まったばかりですので、今後評価してまいります。今後も待ち時間に関しては短縮ということで力をいれていきたいと考えておりますのでよろしく願いいたします。

・処置室の混雑について

安田委員

4月から外来部門の患者様の窓口ということを考えまして、看護師長を2人態勢にして配置しております。また、処置室と内科の窓口が混同して込み合ってしまうという現状がありまして、患者様にご迷惑をおかけしておりました。処置室の混雑を解消するために、外来以外の部門から応援態勢で人員確保しております。また、患者様お一人おひとりに丁寧な対応ができるように、処置室に案内係担当の1名、コンシェルジュとして看護師長を1名配置しております。全科からの外来の患者様の採血、検査、点滴、注射などに対応して、スムーズにできるように努力しております。少しずつ流れが良くなってきており、内科の窓口で行列になることが解消されました。もっと工夫できる点を見つけながら、今後もますます努力して参ります。

・認知症患者について

石岡委員

認知症の患者様については、基本的には精神科の領域と考えておりますが、近年高齢化に伴い認知症の患者様が非常に増えておりまして、我々が診察する患者様の中でも認知症を合併される方も増えてきておりますので、当院では専門的な診察に関しては、秋田県立脳血管研究センターからお越しになっている脳外科の医師、神経内科の医師に診断していただいておりますが、簡易のスクリーニングの検査は内科、外科等でできる範囲で介入しております。入院の必要な患者様に関しては主に内科で入院していただいております。その後の関与が必要な方に関しては附属老人保健施設に入所して対応しております。現在老人保健施設に入所の方の半分以上が認知症の薬を内服しております。このように段階的に対応していきたいと思っておりますので、遠慮なくご相談していただきたいと思っております。また、院長の石岡、副院長の金子が認知症サポート医の研修を終了しておりますので、対応していきます。

船山委員

現在私は民生委員を約10年務めておりますが、対応する中で認知症が疑われるのではないかと感じる時があります。そのような場合どこに相談するかというと、市との連携もありますのでまず包括支援センターにお話しします。我々が認知症を疑っても、本人がまったく認識しておらず、危険な生活をしていると感じる場合が多々あります。包括支援センターにお願いして同行してもらおうのですが、困るのは「私はどこも悪くない」「自分の生活は自分でやっているから、話は聞かなくてもいい」という方です。介護認定を受けていない方もおり、申請につながるよう援助しています。我々が接した場合、何を基準に認知症と判断すればよいのでしょうか。

石岡委員

簡易の検査があるため、それである程度判断するようになるかと思っております。

船山委員

市で2月に1回包括支援センター サンピノで認知症サロンをやっておりますが、我々が参加をすすめる本当に来てもらいたい人がなかなか来ない現状です。元気な高齢者が多く参加しており、参加していただきたい人の参加をどのように促すか、というところが課題です。

議長

行政等いろいろな機関がかかわる問題だとは思いますが、我々医療機関としては通院している患者様に関しては気づいて対応できるのですが、一般的な認知症の話になると医療機関から前に行くのは難しい現状です。町づくり、行政の一環として考えていかなければならない問題と考えております。先ほど石岡委員がおっしゃったように、各科で対応していくという形になるでしょうか。

石岡委員

他の疾患で服薬しているようなら、主治医の先生に相談し、そこを窓口に変えたい等々の対応になるかと思えます。

船山委員

介護保険の申請をしてもらえればよいのですが、我々が必要と考える方に限って大丈夫だ、心配ないとなかなか受け入れてくれない現状が問題です。

議長

まずはかかりつけ医に受診していただくことかと思えます。

金子委員

能代市の包括支援センターとしてはスタッフも含め活発に活動しているのか教えていただきたい。というのは、2年ほど前から国の方針で地域包括ケアシステムの構築の関する話があり、自治体によっては認知症初期集中支援チームを作っているところもあるようです。

病院まで連れてくるのは本人や直接関わっている人からすると遠いと考えています。そこに、行政や自治体から委託されたスタッフに関わり、生活の環境を整えるためには何が必要なのか話し合いをして評価できれば、病院へ来なくても救われる部分があるため、そこを整備しようという動きが始まっていますから、能代市でも取り組んでいただきたいと思っておりますし、ぜひ協力したいと考えております。

船山委員

能代市では包括支援センターはよく活動していると思えます。我々が相談に行くところとすぐ対応してくれるのでありがたいと思っております。

議長

包括支援センターや市でも、この話題を練っていただければ、と思えます。

永井委員

地域包括支援センターに認知症初期集中支援チームを立ち上げていただきたいと考え

ており、県も一緒に取り組んで参りたいと思います。県内では秋田市、男鹿市が立ち上げています。この地域でも出来るだけ早く立ち上げたいと考えております。

根本委員

入院された認知症患者様への当院でこれから取り組んでいきたいことについて紹介させていただきます。高齢化に伴い、多くの認知症患者様が入院しております。入院による環境の変化で認知症が悪化する方もおありまして、予防のために取り組んで行きたいことがあります。「認知症カフェ」を病院の中で開こうと考えております。対象としましては、車椅子レベルの方を週に1回から2回程度、11時から14時くらいまでで、4階にありますレストランしらかみに来ていただき看護師がレクリエーションを行い、家族にも参加していただき、認知症に対する対応の仕方や、お困りごとの相談にもものるような形で開催の準備を進めております。8月くらいから本格的に始めたいと思っております。地域の方に対してではありませんが、院内から発信していきたいと考えております。

芳賀委員

大変恐れ入りますが、協議の進め方についての話ですが、現在の話題は分科会の報告についてであります。そちらに関しては病院で協議して取り組んでいくというお話しでしたが、協議会本来の協議に入ったらいかがでしょうか。

山須田委員

分科会に対する返答も議案の一つでありますので、回答いただきたいと思っております。

・セカンドオピニオンについて

石岡委員

セカンドオピニオンについては、当院での対応の範囲を超える部分については、しかるべきところに紹介させていただいておりますが、当院で対応できる範囲であれば遠慮なく言っていただきたいと思います。

・乳がん検診について

石岡委員

乳がん検診に関しては、健康管理センターでの健診と、外来での受診の場合があります。健康管理センターでは、協会けんぽの方、共済保険の方が中心ですが、一般の方も受けていらっしゃいます。それ以外の乳がん検診に関しては、午後に乳がん検診のみ受付という日を月に何日か設定しておりますので、そちらを利用していただければスムーズかと思っております。その他に、ジャパンマンモサンデーが10月にありまして、県内では例は少ないですが、数年前から積極的に取り組んでおありまして、40人程度対応しておりますので、そちらをご利用していただく方法もあります。また、能代市が推奨するがん検診の日というのが年に2回ほどあり、市内の3つの健診センターで対応しておりますが、

そちらでも乳がん検診を行っておりますのでご利用いただければと思います。クーポンのある方で健診目的のみの方は外来ではなく健康管理センターで対応していきたいと思いますが、なんらかの症状、不安がある方は外来にて随時保険診療として対応いたしますので遠慮なくいらしてください。当院にはマンモグラフィーが 2 台あり、女性技師もおりますので対応していきます。

・地域のニーズの収集

石岡委員

やまびこという投書箱を設置しており、ご意見をいただいております。その他にも機会があるようでしたら、総務企画課、看護課に遠慮なくご意見いただければ、可能な限り院内で検討して対応していきたいと考えております。

議長

ご意見ご質問等ございませんでしょうか。

それでは、承認してもよろしいでしょうか。

一同

異議なし

議長

三つ目につきましては、各委員から秋田病院に特化した要望がございましたらお願い致します。

3.病院に対するニーズについて

フリートークでお願いいたします。

永井委員

先ほどの報告で、訪問看護ステーションの新設とありましたが、ぜひ在宅医療をさらに積極的に推進していただければと思います。訪問看護に加えて、さらに訪問リハビリも対応していただけるとありがたいと思います。

石岡委員

訪問看護ステーションに理学療法士を配置しておりまして、少しずつ対応しております。この地域では往復の移動にかかる時間が一つの問題でありまして、スタッフが増えれば対応の幅も広がるかと思っておりますので、ぜひ要望として出してください。

芳賀委員

今回 3 回目の協議会ですが、病院に対するニーズという議案は、的の絞られたテーマでよかったと思います。病院が地域の実情に応じた運営をするために、一般の方、地域住民から意見や要望を聞くということだと思っておりますが、その対象が当該施設の利用者、その他の関係者となっております。その他の関係者の解釈ですが、地域の住民はもちろん

ん一度でも病院のお世話になった方、その家族、さらには公的存続に関わる署名運動に賛同した人も関係者の一人としてご意見や要望を承るのがよいかと考えます。前回の 2 回目の協議会の時にも提案しましたが、地域のたくさんの人から病院の運営に対して意見、要望をよせていただくためにどのような方法があるのかを協議したいと考えております。例えば新聞を通して広く住民に呼びかける方法などがあるかとは思いますが、前回は回答が聞けなかったため、本日お答えが聞けましたらありがたいと思います。

議長

各委員のこの協議会の立場はいろんな解釈ができるかと思えます。

ひとつは JCHO 秋田病院がこの地域でどのような役割を果たしているのかを確認し、何か不十分があればそれを要望していくこと、もうひとつはこの病院の機能として同業の医院や関連の病院から見てどうなのかということ、一番大きな問題は病院の経営、運営状況の 3 点だと考えます。意見や要望を寄せていただく方法については、前回の協議会でも話題として出ておりましたが、病院としてなにか取り組みはありましたでしょうか。

船越委員

分科会での報告でもありましたが、意見要望の掘り上げをどうするかという点についての検討ですが、病院ホームページ上で意見、要望をメールでいただくものがありまして、毎月何通かいただいております。また院内の投書箱やまびこでも意見を承っております。それでも、公的存続の際に市民の皆様からご支援いただいた方々となれば、まだ掘り上げが足りないのではないかとこのところもございまして、北羽新聞様にご協力いただいて、この地域協議会の記事の中での意見、要望の呼びかけの掲載は可能とお話しもいただいております。また、分科会後の検討では、今後開催される市民講座には、1 回に 50 名から 60 名の市民皆様にお集まりいただいておりますので、そこでの要望を拾い上げる、といったことを試してみてもいいのではと、院長よりお話しいただいております。そのためにも、市民講座に多くの方に来ていただいて意見をいただきたいと考えております。その他に何かいいアイデアがあればご教示いただきたいと思えます。

芳賀委員

非常によいアイデアだと思います。いろんな意見を集約して、病院がどのように対応していくか、が今後の協議会の案件になるかと思えます。

議長

病院の中で考えていること、実施していることのお話がありましたが、その他各委員から方法に関する意見はありますでしょうか。このような意見は随時出していただいて、JCHO 秋田病院に限らず、要望を集め、策を講じていただければと思えます。

楊委員

病診連携という観点から一点だけお話しさせていただきます。整形外科の先生方には、急な紹介でも迅速に診察や手術の対応していただき、ありがたいと思えます。開業しておりますと内科の患者様も多くいらっしやいまして、内科へ紹介の際、内科内のどの先

生に紹介したらよいのかわかりやすくしていただければありがたいと思います。

石岡委員

内科に関しては、来ていただいた後にこちらで各専門の先生に振り分けさせていただいておりまして、遠慮なく医師名なしで内科充てにご紹介いただければと思います。

議長

私から、地域産業保健センターのかかわりもあるので健診に関してお願いがあります。個人へ出すレポートがあり、私たちが指導内容を書く欄があるのですが、既往歴、現病歴、タバコ、アルコール等の項目がなく、指導の際にコメントが書けないことがあり、欄があるので項目を細かく書いていただきたいと思っている。

石岡委員

システムのフォーマットの問題もありますが、今後検討いたします。

薩摩委員

門内薬局についてお聞きしたいと思います。規制緩和で病院施設内に調剤薬局を建てても良いことになっているようですが、この件についてどのような状況なのかお聞かせください。

石岡委員

調剤薬局の建設に関しては今までは道路を隔てていなければいけなかったのですが、不便な面があるという現実があります。特に雨や冬の悪天候時には交通量も多く危険であり、改善の要望も出ております。全国的にあまり例がないという問題はあるのですが、規制緩和に伴い要望があるようであれば今後検討していきたいと考えております。

薩摩委員

施設内に調剤薬局があれば非常に助かります。多くの患者が賛成するのではないかと考えます。現在も FAX を調剤薬局に送ったりしているようですが、診療後すぐに敷地内の調剤薬局で薬を貰えれば利便性が向上すると思います。特に高齢者が多いため、道路を横断するのに大変な思いをしている現状があります。全国に先駆けて前向きに検討をよろしく願いいたします。

石岡委員

前向きに検討して参ります。

芳賀委員

今後の協議会の開催について予定や、予想される協議の内容についてお話いただきたい。今後意見を集約しそれをまとめて、委員に周知すると同時にある程度の病院としての対応、対策を練っていただくという形になるのでしょうか。

船越委員

今後、出された意見に対しての病院の見解を出して、地域協議会そのものは毎年 6 月に行うこととなっておりますのでそこでお示しをする。その中で疑義が生じたものについては議論していただくという形でいかがでしょうか。また、第 2 回分科会を本年 11 月

に行う予定で考えておりました、そこに参加する地域住民・利用者の方々の幅を広げ、それまでの意見とその対応について紹介し、さらに出された意見をまとめて来年 6 月の地域協議会にかけたいと考えております。

芳賀委員

地域のニーズを反映した病院運営をしていくことが一番求められているところだと思います。それがこの地域協議会が設置された大きな目的にもなっていると思いますので、是非進めていただけるよう希望いたします。

大高委員

三町協議会の立場から、金子委員からお話のありました認知症初期集中支援チームの設立について平成 30 年度の期限があるようですが、それに向かいまして能代市も取り組むことと思われませんが、今後取り組みを進めていく上でぜひご協力、アドバイスいただきたいとお願いいたします

議長

いろいろ貴重なご意見が出されましたけれど、今後の協議会のあり方についても検討いただいたことと思います。今後は、11 月をめどに再度分科会が開催されるようですし、そういった意見をふまえて今後より良い病院づくりをお願い致しまして、第三回 JCHO 秋田病院地域協議会を閉じたいと思います。本日はお疲れさまでございました。

(文責 若松)

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成 28 年 8 月 1 日

議 長 殿

議事録署名人 薩 摩 博 印

議事録署名人 小笠原 達志 印